

令和6年度 浜の活力再生プラン優良事列表彰 取組概要 高浜地区地域水産業再生委員会



地区の概要



- 福井県高浜地区では、大型・小型定置漁業、刺網・延縄漁業、採貝藻及び養殖等が営まれている。
- 漁家所得の頭打ちと漁業就業者の減少・高齢化に有効な歯止め対策として、高浜駅周辺から海岸部を含めた市街地を対象にした「コンパクトシティ」構想の下、観光と漁業を核とした6次産業の振興と並行したまちづくりに取り組む。
- 若狭高浜漁業協同組合、高浜魚商組合、高浜町、福井県漁業協同組合連合会小浜支所および福井県で構成される地域水産業再生委員会が取組を推進。

主な取組の概要

低利用資源の6次産業化による加工品販売の取組

・温暖化等の環境変化により、利用価値の低いサゴシ・ツバス・エイシイラ等の漁獲割合が増加し、これらの魚種の有効利用が課題。
 →低利用魚種の買取り先として**加工場を地域商社が運営**し、漁協女性部等との協力により食べやすさをコンセプトに**新商品を開発**。
 →漁港・既往市場周辺適地で地域商社と連携したイベント直売やネット販売、地元住民や観光客へ調理販売を実施し、**6次産業化による付加価値向上によって魚価向上を実現**。
 (平均単価(R3→R5) ツバス 161円→220円 シイラ 128円→195円)



商品開発した串製品(上)とハンバーガー(下)



地域商社運営の加工場



イベント(釣り体験)の様子

観光と連携した直販・レストラン事業の取組

・町全体でコンパクトシティ構想や都市整備を進める中で、地域の主要産業である水産業・漁港の再整備に伴い、魚の高付加価値化や販売量増加に向けて、漁業者、加工業者、販売業者等が多様な事業に連携して取り組む必要。
 →漁港と隣接した立地を生かしたエリアを「たらふく市場」と称し、新たに整備した衛生管理機能を持ちセリ見学もできる市場や6次産業施設「UMIKARA」を核とし、**観光と連携したビジネスを展開**。
 →直販施設に活魚水槽を備え、購入した活魚を食堂で食べられるレストラン事業により**地域ブランド魚の単価や認知度が向上**。また、昼市、海釣り体験等、海の文化と恵みを丸ごと体感できる仕組みを確立することで**地域の漁業の魅力や知名度も向上**。
 →屋上テラスや建物周辺の敷地内では、定期的にさまざまなグルメ屋台や体験イベントを楽しむことができ、地元住民の憩いの場としても利用されることで**地域活性化に貢献**。



UMIKARAを楽しむ



シーフードマーケット「UMIKARA」公式HP



うみから食堂の地魚を利用したメニュー



昼市の様子(左)と屋上テラス(右)